

《第4回国際膜フォーラム》

「世界の下水処理と再利用の最新動向」

膜技術を中心として

主催：



協賛：社団法人日本水環境学会、日本液体清澄化技術工業会、財団法人造水促進センター、日本膜学会、食品膜・分離技術研究会、株式会社日本水道新聞社、株式会社水道産業新聞社、株式会社環境新聞社（依頼中を含む）

膜分離技術振興協会は膜分離技術・システムの振興、普及を図る目的で1982年に設立され、既に四半世紀にわたって活動を続けてきました。

昨年には有限責任中間法人として新たなスタートを切りました。

この間、膜分離技術は注射用水、超純水処理から水道浄水処理、最近では排水処理へと、より広範な分野に活用されるようになってきました。

当協会では、国際的な視野に立った膜分離技術の普及促進、技術交流を目的として定期的な国際フォーラムを開催しています。

今回は、第四回目として技術革新、市場拡大が著しい下水処理にスポットを当て、市場に視点を置いたフォーラムを企画致しました。

皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

日 時： 2009年2月19日（木）10:00～15:30
会 場： 東実健保会館大ホール
東京都中央区東日本橋3丁目10-4 東実健保会館
TEL 03-3669-3861

プログラム：

- 9:00 (受付開始)
- 10:00～11:00 日本：これからの下水道行政について
国土交通省下水道部下水道企画課下水道事業調整官 加藤裕之氏
- 11:00～12:00 中国：中国におけるMBR技術の研究開発と応用の現状(日本語)
清華大学 教授 黄霞氏
- 12:00～13:00 (休憩)
- 13:00～14:00 欧州：欧州のMBRについて(仮題) ～同時通訳～
ドイツ・ダルムシュタット工科大学 教授 ピーター・コーネル氏

14:15~15:15 中東：中東における下水処理水再利用及びMBRについて(最新レビュー)
~同時通訳~
UAE・MMH社 博士 ムラート・サリオグル氏

参加費： 20,000円 (膜協会会員及び日本水環境学会会員)
25,000円 (非会員)
5,000円 (国、地方自治体の機関、大学、学生)
定員： 200名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
申込方法： 下記申込書にご記入の上、FAXあるいはe-mailでお申込下さい。
FAXあるいはe-mailでのお申込確認後、参加証、会場地図、請求書をお送り致します。(申込書は1名につき1枚でお願い致します。)
申込締切： 2009年2月12日
申込先： 膜分離技術振興協会 TEL 03-6712-0191 (火、木のみ)
FAX 03-6712-0192
e-mail info@amst.gr.jp URL <http://www.amst.gr.jp>
〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-12-11、東日本橋TSビル

有限責任中間法人膜分離技術振興協会宛

第4回国際膜フォーラム申込書

「世界の下水処理と再利用の最新動向」

膜技術を中心として

氏名		
勤務先・学校名		
所属		
住所	〒	
連絡先	TEL	FAX